Ⅱ　学校経営の実際

令和5年度（2023 年度）八代市立龍峯小学校　学校のグランドデザイン

○日本国憲法
○教育基本法他関係法令
○学習指導要領
○第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン
○熊本の学び推進プラン
○県教育庁各課取組の方向
○くまもとの教職員像
○八代教育事務所取組の重点
○八代市教育大綱
○八代市教育委員会学校教育推進の基本方向
理念「やつしろの絆でつむぐ心豊かなひとづくり」
○やつしろスピリッツ

校訓
やさしく　かしこく　たくましく

学校教育目標
学びを楽しみ、活かす龍峯っ子の育成

○児童・学校の実態
○児童・保護者・教師の願い
○地域住民の期待（創立150年目）
○今日的教育課題への対応
○社会情勢への対応
○十二校園連絡会（保小中高連携の強化）
○ COVID-19 対策（新しい生活様式の推進）

＝学校経営の基本方針＝

学校教育目標の実現に向け、人権尊重の精神を根底に置き、全職員が一人一人を大切にし、深い教育的愛情と強い使命感をもって校長を中心とした「チーム龍峯」の下、未来を担う人材を育成する。

＝本校教育の使命＝

学ぶ楽しさを味わい、夢や希望を膨らませる学校づくり　　誰一人取り残さない学びの保障と人材育成

＝学校経営の基礎＝

①児童の個性の伸長　②授業改革・学力向上　③特別支援教育の充実　④組織力・チームの向上（専門性・指導力向上・同僚性の充実）
⑤人材育成・働きがいのある職場環境づくり　⑥地域との連携・協働

○一人一人の個性の伸長を図る実践
　➔自己有用感と自尊感情の高揚、自己理解他者理解の促進　個別最適化した指導工夫とICTの活用
○児童や保護者等の思いや願いを把握し、大切にする取組の推進
　➔児童理解の促進（カウンセリング・マインドやコーチングスキルの習得と活用）　信頼関係の構築
○新学習指導要領に基づいた授業づくり
　➔「主体的・対話的で深い学び」に誘う授業づくりと評価の工夫　児童の思考の場の確保と工夫　まとめ・振り返りの工夫
○基本的な生活習慣・学習規律・学習習慣の確立と規範意識の醸成をめざした諦めない指導の継続
　➔教育的な愛情に溢れたチームでの関わりと連携　学習リーダーとフォロアーの育成　主体的な家庭学習の習慣化
○特別活動を重視した学級経営、児童会活動の活性化、児童の居場所と絆づくり
　➔見通しをもち、思考し行動（考動）する児童育成のための関わりと指導改善　学級の絆づくりと支持的風土の醸成
○将来の夢や希望を実現しようとし、自己肯定感を高めるキャリア教育の推進
　➔基礎的・汎用的能力の育成　望ましい職業観・勤労観の育成
○情報の共有と凡事徹底、学校組織体強化の推進と働きがいのある職場環境づくり
　➔共通理解と共通実践　チーム龍峯の組織力向上　OJTとメンター制度の推進
○十二校園連絡会の推進と地域との連携促進
　➔幼保小中高の連携　八代型小中一貫・連携教育の推進　地域学校協働本部事業の活性化とCSの活性化

めざす学校像 学ぶ楽しさを味わい夢や希望を膨らませる学校	めざす児童像 やさしく　かしこく　たくましく挑戦する子	めざす教職員像 学ぶ楽しさを味わわせ、夢や希望を創造する教職員
○人権尊重の精神に立って一人一人を大切にする学校 ○活気と規律、考動と感動のある学校 ○子どもの個性を認め褒め、一人一人を伸ばす学校 ○地域社会に開かれた信頼される学校	○やさしい子 ・自他の思いを認め褒め励まし合える子 ・他者に共感し、自分事として考える子 ○かしこい子 ・見通しを持って考動し、振り返りができる子 ・進んで問題を見いだし、解決に立ち向かう子 ○たくましい子 ・粘り強く、しなやかに、したたかに挑戦する子 ===伸ばす資質・能力=== 礼節・協働・共感・健康・体力・忍耐力・自己調整力 発信力・説得力・納得力・自己肯定感・自己有用感	○豊かな人権感覚と深い教育的愛情に満ちた教職員 ○高い専門性とチームに貢献する意識をもち、常に新しい知識を求め、実践に活かし確かな学力を育む教職員 ○児童・保護者・地域住民と情報を共有し、相互の信頼の中で課題解決に当たる教職員 ○児童・保護者・同僚に心理的安全性を保障できる教職員 ===求める資質・能力=== 総合的な調和のとれた人間力・使命感、倫理観・実践的指導力・マネジメント力・コミュニケーション能力・課題解決能力

【徳】豊かな心の育成	【知】確かな学力の育成	【体】健やかな体の育成
○自他の人権が尊重される学校・学級・授業づくり ・日常的な人権教育の推進・人権問題の基本的認識と実践的指導力の向上 ○いじめ・不登校の未然防止と早期対応・解決 ○豊かな道徳の授業の実践と評価の充実 ○積極的な生徒指導の推進	○学ぶ楽しさや「分かる」「できる」うれしさを実感できる授業づくり ○主体的に豊かな対話を生み出し、深い学びに誘う授業づくりと評価の工夫 ○個別最適化をめざした工夫と実践 ・UDの視点やキャリア教育の視点に基づいた授業づくり ・合理的配慮の確実な提供 ・基礎的・基本的事項の習得と活用 ・主体的で計画的な家庭学習の習慣化 ・言語活動「学び合い」の充実 ・読書活動の充実	○学校教育活動全体を通した体力の向上 ・九州一周マラソン（九一マラソン）の継承 ○新学習指導要領に沿った学習内容の定着および運動量の確保と達成感のある授業づくり ○健康教育と保健管理の徹底 ・歯科保健指導の充実 ・ COVID-19 等の感性症予防対策の徹底 ○望ましい食習慣の形成と生活リズムの確立 ・食物アレルギー対応・メディアコントロール ○安全管理と児童が主体的に関わる安全教育の推進 ○防災管理の徹底と防災教育の推進
特別支援教育の推進 ○児童の特性に関する理解と指導方法の工夫・改善 ○「個別の支援計画」を活用した切れ目のない支援の充実 ○特別支援教育に係る資質と専門性の向上のための研修 ・インクルーシブ教育システムの構築	**本年度の実践的・重点努力事項** **（バランスのとれた生きる力の育成）**	教育環境の整備 ○安心・安全で快適な学習環境・職場環境づくり ○アンガーコントロール、ストレスマネジメントの研修と実践 ○感性を磨く掲示の工夫 ○ICT機器を活用した授業の充実と情報の共有化、校務の効率化
社会に開かれた教育課程の実現 ○カリキュラム・マネジメントの推進 ○地域とともにある学校づくりの推進 ・PTAとの連携と協力　地域学校協働本部事業の推進　CSの推進 ○地域資源の有効活用、GTの活用	関係機関との連携 ○市教育委員会との積極的な連携・協力 ○SC・SSWのと連携、ケース会議 ○学校便り・学校HPの活用 ○各種行事等への積極的な参加 ○就学前教育と小学校の円滑な接続と学習指導および絆（居場所）づくりの充実	組織力向上の取組 ○専門性を活かしたチーム体制の構築 ○ OJT による指導力向上、メンター制の導入、スキルアップワークショップ等の実施　シェアリング ○不祥事の未然防止ができる職場づくり ○心理的安全性の確保（WBS）

カリキュラムマネジメントの視点を活かした学校経営とPDCAサイクルの確立

授業実践　学期・行事の振り返りと改善　学校評価等での検証　学校評議員会・学校運営協議会の委員による協議　人事評価など